

「銃剣道をやめさせて」

「銃剣道を中学生に教えるなんて、教育として間違っている。絶対にやめさせてほしい」。

青森県の日本共産党事務所に、元自衛官の男性から電話がありました。男性は、政府が発表した新学習指導要領の中学武道に追加した「銃剣道」の廃止を訴えました。銃剣道の有段者だとい

元自衛官の男性

新学習指導要領から廃止訴え

う男性は「自衛隊の中で銃剣術を職業軍人として教育される。銃剣術は心臓を突く人殺しの術です」と自らの体験を語り

ました。「お互いに相手を突くのが銃剣道。相手の心臓（の部分）を突くと一本となる。防具はつけているが、衝撃は相当なものです」

男性は、練習中に心臓

を突かれ、死亡者が出るなど重大事故を危惧します。

「絶対に子どもに教えるものではない。これは教育ではないのです。自衛官だった仲間も『これを学校で教えるのは危険だ』と言っています。戦前、女性、子どもたちにやりを持たせたのと同じではないですか」と憤り

ます。

「自衛官だった私としては共産党の考えと合わないことはあるが、私の話を真摯（しんし）に受け止める政党は共産党しかないと思って電話した」とも話します。

「安倍首相の周りには戦前に戻そうとたくらむ団体が存在しているのだと思う。もう止められるのは共産党しかない。銃剣道をやめさせるために頑張ってほしい」と話しました。